



エコロジア第一太陽光 発電所だより vol.01



発行：2016年4月6日
株式会社エコロジア
080-5458-1477
<http://www.ecolosia.jp>

発電所の近況報告

2014年10月15日完成以来約1年半、おかげさまで順調に発電しています。昨年4月には長泉寺通りを南へ井尻方面に道なりに行った木更津市有吉に第二発電所も出来ました。

ここ永地の発電所から東京電力への供給量は、2014年の2ヶ月間で9,772kWh、2015年は1年間で77,106kWh、今年は3月までで17,193kWh、開所以来累計104,071kWh（標準的世帯の約28.9年分）となりました。

日照の良い場所と天候に恵まれ、当初見込みより3割以上良い結果となりました。（その分、雑草の伸び具合も想像以上で、草刈りの大変さも身にしました）

さて、空が明るく太陽電池が発電できる時には、発電所で出来た電気は東京電力の電線を通り、ご近所のお宅へ流れていきます。

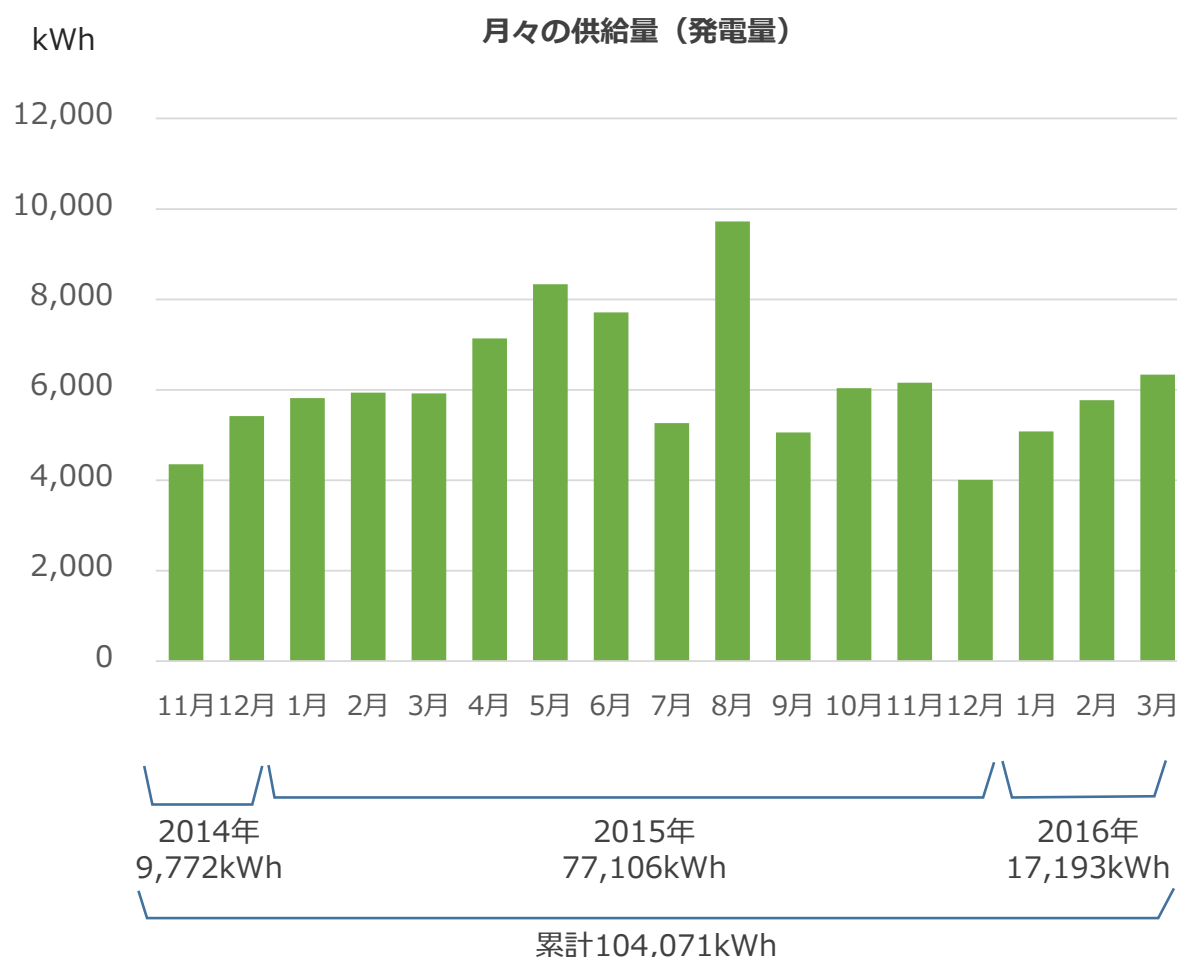
実際には、東京電力が運転している火力発電所や水力発電所など色々な電源（東電の原子力発電所は全て停まったままです）からの電気と混ざりますが、永地に降り注いだ太陽光で出来る地元産の自然エネルギーをお使いいただいていることは間違いありません。

永地にある太陽光発電所をより身近に感じていただけますよう、不定期の発行とはなりますが、時々の特ピックスを載せた「発電所だより」をお届けしたいと思います。

また、何かお気づきの点やご質問などございましたら、右上に記載している電話番号までお問い合わせください。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

株式会社 エコロジア
代表取締役 林 彰一



目次

（表）

• 発電所の近況報告

• NHKで放映されました

（裏）

• 電力小売全面自由化と発電所

• 保守点検のご報告

• 地域貢献（非常時電源）

• 季節の表情

• 発電所プロフィール

NHKで放映されました



1月27日放送のNHK朝のニュース「おはよう日本」の電力小売全面自由化特集コーナーで、永地の発電所が取材され、弊社の代表インタビューが放映されました。その後も民放各社の電力自由化特集で度々紹介されています。顔のみえる発電所として、ちょっとした全国区デビューです。

（詳しくは裏面をご覧ください）

電力小売全面自由化と発電所

私どもは、今月3月より発電した電気の卸し先を東京電力から、**みんな電力**に切替えました。

4月1日からの電力小売全面自由化に伴って、この会社は一般家庭向けの電力供給ビジネスに参入しましたが、「顔の見える電力会社」という異色のコンセプトを打ち出して、NHKや民放の報道特集や新聞・雑誌などで大きく紹介されている今注目の電力会社です。

それで永地の発電所もよく取材されるようになりました。ことと契約する消費者は、永地の太陽光発電所の電気を選んで買うことができるようになります。永地の皆さんが選んでくだされば、本物の地産地消が実現します。太陽光、風力、バイオマス等の自然エネルギーを中心とした電気を供給する（全体の約70%）ということです

から、こうした会社を応援することで、温暖化対策上問題のある火力発電所や将来世代にずっと負担を強いる原子力発電から転換を図る未来へ一票を投じることができます。

みんな電力は6月頃から本格的に販売を拡大していくそうです。宜しければ、ぜひインターネットなどで調べてみてください。



みんな電力のホームページを飾る永地の発電所（山口様（左端）、松本様（右端））

保守点検のご報告



昨年12月8日と本年1月8日に、発電所の定期点検を行いました。

電気系統の点検に加え、架台や太陽電池パネルの取付に弛みがないか、ボルトを全数チェックしました。結果は、「合格」。電気系統は問題なし、ボルト点検は600本中2本の弛みを見つけ、増締めを行いました。

昨年は、突風や大型の台風により群馬県伊勢崎市や九州各地で太陽光発電所が破壊された様子が繰り返し報道されました。

人命に関わるような深刻事故に至ったケースはありませんでしたが、ほとんどは強度設計が不十分で、杜撰な施工が原因だったようです。弊社太陽光発電所は、地盤調査と法令に基づき架台強度設計を確認したうえで建設致しましたが、障害物がほとんどなく強風が吹き抜ける田園地帯の永地では、振動で次第にボルトが緩む危険が潜んでいます。

今回は大丈夫でしたが、半年に1度は、ボルト点検を怠らないように気を引き締めたいと思います。



エコロジアでは、万一の加害事故のために損害保険に加入し、また、低圧発電所では義務付けられていない消火器も設置しています。

地域貢献（非常時電源）

この発電所は、地元で愛されたいという願いから、地域貢献をはじめから考えて企画しました。やはり一番お役に立てるのは、災害などで発生する大規模な停電時に、非常用電源になれることだと思います。

蓄電池に太陽電池で電気をためて、永地公民館側フェンスに設置した「コミュニティ・コンセント」から100Vの電気を供給しています。万一の場合は、備品等を使って永地公民館で電気が使えよう、区長様と北隣の松本様に手順書と発電所の鍵をお預かりいただいています。



季節の表情



春、サツキツツジとオオムラサキツツジ



初夏、太陽光発電所に良く似合うヒマワリ



お盆のころ、黄金色に実った稲穂



秋、お隣の松本様に植えていただいて咲いた見事な菊



5年、10年かけてこんなふうな緑に囲まれた発電所を目指します



エコロジア 第一太陽光発電所

コミュニティ型発電所＜永地公民館へ非常時無償給電＞

再生可能エネルギー発電設備（50kW未満）

所在地：千葉県袖ヶ浦市永地1035-1, -2

太陽電池モジュール： 60.0kW（多結晶250W×240枚）

パワーコンディショナ： 49.5kW（三相3線式9.9kW×5台）

年間予想発電量： 59,550kWh（平均家庭約17軒分）

運転開始日： 2014年10月15日

協力事業者/アドバイザー（敬称略）：
（株）Loop、施工者 渡邊祐一・和明、（有）鳴海建設、（株）キャムズ、
千葉グリーンセールス（株）、（有）エムデザインファクトリー松下高弘、
NPO法人 太陽光発電所ネットワーク、伊藤博文、佐山吉孝

連絡先：  **株式会社 エコロジア**
www.ecolosia.jp
080-5458-1477（担当：林）



あぶないよ



はいらないで